

投資事業有限責任組合概要

2021年1月14日

名 称	リアルテックファンド3号投資事業有限責任組合
住 所	東京都墨田区横川 1-16-3
無限責任組合員の氏名又は名称	合同会社リアルテックジャパン
指導を行う者の概況	
氏 名 又 は 名 称	室賀文治
無限責任組合員との関係	職務執行者およびグロースマネージャー
事 業 の 概 要	<p>地球や人類の課題解決を加速させるため、研究開発型ベンチャーを成功に導いた経験のある3社が無限責任組合員として、地方の優れた技術に対する圧倒的なリーチとエコシステムにより、地方から世界へ新産業の創出を目的として設立。</p> <p>NEXT ユニコーン推計企業価値ランキングトップ 100のうち地方発リアルテックベンチャーは11件と、地域にも素晴らしい技術が眠っている。</p> <p>しかし国内ベンチャー投資額のうち約75%は東京に集中しており、支援プレイヤーやリスクマネーの不足が著しい。</p> <p>そこでリアルテックファンド1号投資事業有限責任組合、リアルテックファンド2号投資事業有限責任組合、リアルテックファンド3号投資事業有限責任組合を組成し、組合員企業含む大中企業と町工場、地域金融機関と連携、地方発のリアルテックベンチャーを支援し、技術の社会実装を加速させDeepIssueを解決していく。</p>

<p>指導に係る知識及び経験</p>	<p>法政大学工学部電子工学科卒。 証券会社を経て、1998年に光通信グループに入社。 2000年に光通信傘下のベンチャーキャピタル組成に関わり、以後現在に至るまでファンドの管理業務全般から各種DD、投資のクロージング、モニタリング、EXITという投資業務全般を経験。 2007年に投資先であったユーグレナ社の社外取締役役に就任し、同社の株式公開を支援。 2009年にSBIインベストメントに転籍。 2014年にユーグレナに転職し、リアルテックファンドの組成を担う。</p> <p>これまでに複数のファンドを通じて、ベンチャーの資本政策の設計から資金調達～開発や営業の支援～IPOまたは大手企業へのM&A支援を経験。</p>
<p>指導の概要</p>	<p>社外取締役、監査役といった経営会議参加を通じて外部投資家からの資金調達、大企業との共同出資の支援。 大企業との業務資本提携支援。 複数社との事業連携・共同開発支援。 経営人材の紹介。 NEDOによる研究開発型ベンチャー支援事業の助成金獲得支援。 知的財産戦略構築支援。 等を行っている。</p>

(備考)

用紙の大きさは日本産業規格A4とすること。